

診断書(精神通院医療用)等 記載要領①

※ 本診断書は、A4両面により提出してください。A4片面2枚、A3見開きでも結構です。ただし、A4用紙2枚に分かれる場合は、両方に必ず受診者氏名を記載してください。

診 断 書 (精神通院医療用)

フリガナ		
受診者氏名		年 月 日生
住 所	奈良県	
①病名 (ICDコードは、F00～F99、G40等、第3桁以上を記載してください)	(1) 主たる精神障害	ICDコード ()
	(2) 従たる精神障害	ICDコード ()
	(3) 身体合併症	
(精神症状を有するてんかんはFコード、精神症状のないてんかんはGコードを記載してください)		
②発病から現在までの病歴 (推定発病年月、発病状況、治療の経過等を記載)		
③ 現在の病状、状態像等 (該当する項目を○で囲んでください。)		
(1) 抑うつ状態		
1. 思考・運動抑制 2. 易刺激性、興奮 3. 憂うつ気分 4. その他 ()		
(2) 躁状態		
1. 行為心迫 2. 多弁 3. 感情高揚・易刺激性 4. その他 ()		
(3) 幻覚妄想状態		
1. 幻覚 2. 妄想 3. その他 ()		
(4) 精神運動興奮及び昏迷の状態		
1. 興奮 2. 昏迷 3. 拒絶 4. その他 ()		
(5) 統合失調症等残遺状態		
1. 自閉 2. 感情平板化 3. 意欲の減退 4. その他 ()		
(6) 情動及び行為の障害		
1. 爆発性 2. 暴力・衝動行為 3. 多動 4. 食行動の異常 5. チック・汚言 6. その他 ()		
(7) 不安及び不穏		
1. 強度の不安・恐怖感 2. 強迫体験 3. 心的外傷に関連する症状 4. 解離・転換症状 5. その他 ()		
(8) てんかん発作 (けいれん及び意識障害)		
1. てんかん発作 発作型 () 頻度 ()		
2. 意識障害 3. その他 ()		
(9) 精神作用物質の乱用及び依存		
1. アルコール 2. 覚醒剤 3. 有機溶剤 4. その他 ()		
ア乱用 イ依存 ウ残遺性・遅発性精神病性障害 エその他 ()		
(10) 知能・記憶・学習等の障害		
1. 知的障害 (精神遅滞) ア. 軽度 イ. 中等度 ウ. 重度 2. 認知症 3. その他の記憶障害 () 4. 学習の困難 ア. 読み イ. 書き ウ. 算数 エ. その他 () 5. 遂行機能障害 6. 注意障害 7. その他 ()		
(11) 広汎性発達障害関連症状		
1. 相互的な社会関係の質的障害 2. コミュニケーションのパターンにおける質的障害 3. 限定した常同的で反復的な関心と活動 4. その他 ()		
(12) その他 ()		

～自立支援医療(精神通院医療)の対象および医療の範囲について～

【精神通院医療の対象となる者】

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に規定する精神障害者又はてんかんを有する者

【精神通院医療の対象となる障害】

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行規則第6条の19に定めるとおり通院による治療を継続的に必要とする程度の状態の精神障害 (てんかんを含む。)

【精神通院医療の範囲】

精神障害及び当該精神障害に起因して生じた病態(※) に対し入院しないで行われる医療

(※) 当該精神障害者の治療に関して生じた病態や当該精神障害の症状に起因して生じた病態で担当医が通院による精神医療を行うことができる範囲の病態のこと

ご注意事項!

「知的障害」ならびに「認知症」について

易怒性、気分変動などの情動の障害や暴力、衝動行為、食行動異常等の行動の障害を伴い、継続的な通院による精神療法や薬物療法を必要とする場合に自立支援医療費(精神通院医療)の対象になります。

①「病名」

(1) 主たる精神障害

上記を踏まえ、「病名」※をひとつだけ記入してください。

※避けて頂きたい病名 「心因反応」・・・解釈に幅のある慣用的な病名のため 「抑うつ状態」・・・病名ではなく状態像であるため

ICDコード

対象となる範囲は、「F00～F99」および「G40」です。アルファベットを含む第3桁以上で記載してください。(例えばF33やF20等)

(2) 従たる精神障害

その他の精神障害がある場合はご記入ください。

こちらも対象となる範囲は、ICDコードがF00～F99およびG40です。

②「発病から現在までの病歴」

「主たる精神障害」に関することを中心に、推定発病時期、発病時の症状、精神科受診歴などを含む発病から現在までの病歴や、治療の経過・内容等その他参考になる事項について、該当する精神障害の特徴的なエピソードや治療歴をできるだけ分かりやすく簡潔に記載してください。

また、入院中に申請される方は、退院予定年月日をご記載ください。

③「現在の病状、状態像等」

診断書記載時点のみでなく、治療を中断した場合、今後1年以内に出現する可能性のあるものも含めてチェックをしてください。

「その他」に該当する場合は、その内容を()内に具体的にご記入ください。

特に「主たる精神障害」に関する症状についての具体的な項目にチェックがあるか確認してください。

○「てんかん」の場合

(8) てんかん発作 (けいれん及び意識障害) の項目に、発作型および頻度についてご記載ください。

○「精神作用物質使用による精神および行動の障害」の場合

(9) 精神作用物質の乱用及び依存 の精神作用物質(1～4) および現在の状態像(ア～エ) を選択願います。

○「知的障害」の場合

(10) 知能・記憶・学習等の障害 1. 知的障害 (精神遅滞) について

①病名に記載したICDコードと合致する項目にチェックをお願いします。

F70→(ア.軽度) F71→(イ.中等度) F72→(ウ.重度)